

公益財団法人ロッテ財団 2022 年度事業報告

I 事業の状況

〔1〕奨学事業

1. 応募状況および選考結果

(1) 奨学生の選考、決定

① 一般奨学生

秋採用（9 月末助成終了者補充）に関し、2022 年 9 月 7 日リモートによる選考委員会を開催。推薦を依頼した 9 校からの奨学生候補者 13 名について選考審査を行い、7 名を選定し理事長が採用を決定した。

春採用（3 月末助成終了者補充）に関しては、2023 年 2 月 15 日のリモートによる選考委員会を開催。推薦を依頼した 21 校からの奨学生候補者 24 名について選考審査を行い、18 名を選定し理事長が採用を決定した。

② 渡日前採用奨学生

中国採用に関し、高校 3 校へ推薦を依頼、2 校から 5 名推薦があった。奨学生候補者 5 名について、2022 年 9 月 7 日リモートによる選考委員会を開催。2 名を選定し理事長が採用を決定した。

韓国採用に関し、推薦校を 3 校から 5 校に増やし推薦を依頼、1 校から 1 名の推薦があった。奨学生候補者 1 名について 2023 年 2 月 15 日リモートによる選考委員会を開催。1 名を選定し理事長が採用を決定した。

①②にて決定した合計 28 名の奨学生については、推薦のあった大学・高校に通知した。

(2) 2022 年度奨学生（期末人数）

2022 年度の奨学生は一般、渡日前採用奨学生を合わせて合計 65 名で、その内訳は、一般奨学生 48 名、渡日前採用奨学生 17 名である。

(3) 奨学金の支給

① 奨学金贈呈式

奨学生への奨学金贈呈式は、2022 年 6 月 4 日コロナウイルス感染対策を行った上で規模を縮小し対面で開催、24 名に認定書を授与、奨学生 56 名が参加した。

② 奨学金の支給

本年継続の奨学生 40 名および新規奨学生 22 名に対し、月額 18 万円の奨学金を 2022 年 4 月～2023 年 3 月まで 12 ヶ月間支給した。

また、中国からの新規渡日前採用奨学生 2 名については、2022 年 10 月からの滞在費月額 18 万円及び、渡航支度金、大学入学金等の援助金として 108 万円を支給した。韓国から渡日前採用奨学生 1 名については、3 月分滞在費月額 18 万円及び、渡航支度金、大学入学資金等の援助資金として 108 万円支給した。

2. 奨学援助費（合計） 139,500,000 円

< 奨学生動態表 >

	一般奨学生	渡日前奨学生	合計
2021 年度継続者	26	14	40
2022 年度春新規奨学生	22	0	22
2022 年 4 月在籍者 計	48	14	62
2022 年 9 月終了者	▲7	0	▲7
* 秋季採用者（9 月）	7	（中国） 2	9
2023 年 3 月末在籍者 計	48	17	65
2023 年 3 月末終了者	▲16	▲5	▲21
春季採用（2 月）	18	（韓国） 1	19
2023 年 4 月在籍者	50	12	62

* 渡日前奨学生は 3 月末在籍者に算入

3. 学業および生活状況調査

2022 年 9 月までに、継続奨学生に成績証明書を提出させ学習状況を確認した。

また、4 月、10 月に奨学生全員と個別にオンラインで面談し、勉学の状況、成果の現況および生活状況の報告を受けた。面談により配慮が必要と思われる奨学生を抽出、財団内で共有し、注意深く見守るようにしている。

4. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

- ・ 2022 年 6 月奨学事業贈呈式・交流会を対面にて実施、56 名が参加した。
- ・ 2022 年 8 月研修旅行を計画も、新型コロナウイルス第 7 波による感染拡大のため中止。
- ・ 2022 年 11 月奨学生研究発表交流会をオンラインにて実施し 60 名が参加した。
- ・ 2023 年 3 月奨学生卒業式・交流会を対面にて実施、53 名参加した。

(2) 日本文化研究「俳句」交流会

2022 年 9 月 オンラインで俳句の会を開催、奨学生 22 名参加した。

2022 年 12 月句集「夕涼」を発行した。

(3) 奨学生交流会（OB・OG 交流会）（日本文化研修）

- ・ 2022 年 12 月奨学生 OB・OG 交流会を実施、47 名が参加した。
- ・ 2022 年 12 月夏の研修旅行中止の代替として希望者を募り、東京都内、名所・旧跡を視察、30 名が参加した。

(4) 奨学生交流誌の発行

奨学生間、奨学生と財団の交流に資するため、2022 年 5 月交流誌を発行した。

〔2〕研究助成事業

1. 主要日程

- ①2022 年 4 月 1 日 2023 年度募集開始
- ②2022 年 6 月 3 日 「奨励研究助成」受付締切り
- ③2022 年 6 月 24 日 「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」受付締切り
- ④2022 年 7 月 30 日 若手研究者の集い（オンライン開催）
- ⑤2022 年 8 月 25 日 第 1 回選考委員会（書類審査）（オンライン開催）
- ⑥2022 年 9 月 20 日 第 2 回選考委員会（面接審査）（オンライン開催）
- ⑦2022 年 10 月 4 日 助成採択者理事会承認（書面決議）
- ⑧2022 年 12 月 15 日 第 10 回贈呈式

2. 応募状況

項目	研究者育成助成 〈ロッセ重光学術賞〉	奨励研究助成	合計
大学	国公立大学 8 件 私立大学 1 件 計 9 件	国公立大学 95 件 私立大学 36 件 計 131 件	140 件
その他 研究機関	1 件	6 件	7 件
計	10 件	137 件	147 件

3. 採択者一覧 資料 A 参照（別添）

4. 研究助成金（合計） 184,250,000 円

5. 選考概要

今年度「奨励研究助成 A」については、従来の基礎研究に加え新たに社会実装枠を設け、募集段階から分けて募集を行い助成金は従来と同様最大 300 万円とした。「奨励研究助成 B」は昨年同様、最大 100 万円の助成を継続、募集を行った。

①選考方法

従来通り「食と健康」に関連した幅広い分野からの申請があり、当助成事業の選考委員 6 名全員で申請書全件の書面審査を行い、選考委員会にて活発な議論を交わしたうえ、最終候補者を決定した。なお、「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」においては、まず書面審査で 2 名を選考し、後日、面接審査を実施した。

② 観点

「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」については、申請者が将来自身の研究分野を切り拓き、同時に切り拓いた研究分野を先導し、社会のために広く貢献していける能力を有する研究者かどうか、さらに、「食と健康」の分野でどのように将来を展望しようとしているのかに主眼をおいて審査を行った。

「奨励研究助成 (A)」および「奨励研究助成 (B)」は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象としており、自然科学から人文・社会科学までの広域にわたる「食と健康」の分野において、研究上の独創性、チャレンジ性、萌芽性および将来性について審査を行った。また、「奨励研究助成 (A)」のうち、実装型分野は、旧助成者からの応募も多数見られ、社会実装への可能性、研究の進捗なども含めて審査した。

③ 選考結果

2022 年 8 月 25 日の第 1 回選考委員会にて、「奨励研究助成 (A)」の助成対象候補者 37 名、「奨励研究助成 (B)」の助成対象候補者 14 名および「研究者育成助成」の面接候補者を選出、続いて 9 月 20 日の第 2 回選考委員会にて、「研究者育成助成」の助成対象候補者 1 名を面接審査にて選出した。その後、10 月 4 日の理事会において正式に採択を決定した。

6. その他

- ・ 第 9 回研究者育成助成対象者の金子賢太郎氏が、2022 年 4 月 1 日より明治大学講師に就任。
- ・ 第 2 回同助成対象者の中島健一朗氏が 2022 年 11 月名古屋大学教授に就任。

第10回(2023年度) 助成対象者

※所属機関・職位は2022年12月現在のものです。(五十音順・敬称略)

研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)

●新規助成者

助成金 15百万円

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	宮内 英里	筑波大学システム情報系知能機能工学域 研究員	脳波リズムの制御による食体験の向上技術の開発:心身の健康を目指して	筑波大学システム情報系知能機能工学域	准教授 川崎 真弘

●継続助成者

助成金計 45百万円

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	佐々木 崇	東京大学大学院農学生命科学研究科 特任助教	骨格筋における摂食応答の分子基盤解明と筋機能改善への応用	東京大学大学院農学生命科学研究科	特任教授 佐藤 隆一郎
2	山口 裕嗣	名古屋大学環境医学研究所 ストレス受容・応答研究部門 経系分野2 特任助教	絶食や食品成分により誘導される冬眠様低代謝状態の神経基盤の解明	名古屋大学環境医学研究所	教授 竹本 さやか
3	戸田 安香	明治大学農学部農芸化学科 食品機能化学研究室 特任講師	甘味・旨味受容体T1Rsの進化と食性の多様化の関わり の解明	明治大学農学部農芸化学科 食品機能化学研究室	教授 石丸 喜朗

奨励研究助成(A) (助成対象分野⑧「実装型研究」分野)

助成金計 39百万円

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	大村 有加	東京慈恵会医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科 助教	電子媒体化したBDHQの食事調査に基づく糖尿病に対する個別化栄養指導の有効性
2	片桐 さやか	東京医科歯科大学病院歯周病科 准教授	若年胃ろう患者に対する摂食嚥下訓練の有効性および胃ろう食が腸内細菌叢に及ぼす影響
3	金子 賢太郎	明治大学農学部農芸化学科栄養生化学研究室 専任講師	食による視床下部を標的とした新しい抗肥満戦略の実現
4	小泉 晴比古	広島大学大学院統合生命科学研究科 准教授	「ジューシー」な代替肉の開発を目指した安定なオレオゲル作製技術の開発
5	光斎 翔貴	立命館大学立命館グローバルイノベーション研究機構 准教授	エコ・ワインツーリズムに向けたローカルワイナリー集積地における環境配慮指針の形成
6	佐藤 友紀	静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科 助教	血液リポミクス分析×機械学習モデルによるNASH診断バイオマーカーの探索
7	下里 剛士	信州大学バイオメディカル研究所生体分子イノベーション部門 教授	老舗味噌蔵に宿る蔵付乳酸菌の特性解析と産業展開
8	平 修	福島大学農学群食農学類食品科学コース コース長/教授	茶葉成分テアニンが及ぼす良好なメンタルヘルス保持能力と健康寿命への関係解明
9	竹井 敏	富山県立大学工学部医薬品工学科 ライフサイエンス材料研究室 教授	食品品質不正・産地偽装防止ホログラム用水溶性ナノパターンニング可食テープ材の開発
10	濱谷 沙世	福井大学子どもこころの発達研究センター 特命助教	神経性過食症の遠隔治療基盤構築と有効性評価:多施設共同ランダム化比較試験
11	真柄 仁	新潟大学医歯学総合病院 講師	咀嚼嚥下の生体記録からオーラルフレイルの気づきを促進する
12	満倉 靖恵	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授	心拍のみを用いた睡眠の5段階判定による睡眠と認知機能との関連性取得
13	宮下 政司	早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授	加齢性食欲不振及びオーラルフレイルに対する身体活動の習慣化または咀嚼の役割

奨励研究助成(A) (助成対象分野①～⑦分野)

助成金計 70.5百万円

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	馬谷 千恵	東京農工大学大学院農学研究科 応用生命化学部門 助教	魚類の生殖機能および次世代胚の成長を向上させる栄養の研究
2	遠藤 瑞己	東京大学理学系研究科化学専攻 助教	近赤外光アップコンバージョン現象を活用した生体深部の味覚受容体センシング制御
3	大野 速雄	日本女子大学理学研究科物質・生物機能科学専攻 講師(PI)	健康を脅かす常在性有害腸内微生物の作用の解明
4	小澤 貴明	大阪大学蛋白質研究所 助教	味の統合とおいしさを生み出す神経回路の解明
5	後藤 和義	岡山大学学術研究院医歯薬学域病原細菌学分野 助教	昆虫食の安全性における昆虫腸内細菌叢の役割
6	小柳 江梨子	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻生体機能制御学講座口腔生理学分野 助教	味蕾ターンオーバーの実態解明
7	小山 喬	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 准教授	体液由来小分子RNAを用いて非侵襲的な超早期魚病診断法を実現する
8	佐藤 奨平	日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科食品企業組織論研究室 専任講師	グローカリゼーションの進展下における伝統菓子企業の地域回帰に関する日台比較
9	佐藤 菜美	新潟大学日本酒学センター 特任助教	日本酒醸造産物のフェロトーシス抑制メカニズムの解明と健康的な利用に関する検討
10	塩谷 和基	立命館大学生命科学部生命情報学科 助教	おいしさを生み出す風味の脳内情報処理機構の解明
11	島 亜衣	東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 特任助教	培養肉の作製を目的としたトリ初代筋細胞の食用培養条件の検討
12	島 孟留	群馬大学 共同教育学部 保健体育講座 講師	低糖質・高タンパク質食が腎臓-海馬連関を通じて認知機能に及ぼす効果
13	高橋 一聡	千葉大学大学院園芸学研究院 助教	必須栄養素セレンの体内過剰蓄積の回避に向けた腸内細菌による代謝の活用
14	武 晃	北里大学医学部微生物学 助教	糞便微生物移植治療から見出した腸内放線菌のガムによる生理活性評価
15	タナッチャポーン カムランシー	広島大学大学院統合生命科学研究科食品生命科学プログラム 准教授	ビタミン B6 とメカニカルマッサージによる 骨格筋再生 と筋幹細胞への影響
16	種村 菜奈枝	医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所 室長	消費者と専門家の食のベネフィット認知の差を解消したコミュニケーション推進策
17	中村 有孝	和歌山県立医科大学薬学部病態生理学研究室 助教	母乳による粘膜免疫系発達の分子基盤解明と将来的な疾病感受性への影響の解析
18	中本 真理子	徳島大学大学院医歯薬学研究部実践栄養学分野 講師	eye-tracking解析に基づく健康的な食選択行動を決定づける要因の解明
19	西村 慎之介	同志社大学理工学部機能分子・生命化学科 助教	食の安全を脅かすマイクロプラスチック問題の克服に向けた持続可能な高分子材料の開発
20	二宮 章洋	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻 助教	鰹節カビ発酵物からの機能性成分の探索-第二のコウジ酸を目指して-
21	廣瀬 亮平	京都府立医科大学大学院医学研究科 感染病態学/消化器内科学 助教	食中毒原因病原体の環境安定性評価に基づく食中毒の発生にくい環境・表面の創出
22	増田 寛志	秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科 助教	育種及びゲノム編集技術による鉄・亜鉛栄養価の高いイネの作出
23	真鍋 祐樹	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻 助教	カロテノイドの消化管吸収に関わる分子メカニズムとその生理的意義の解明
24	吉田 悠太	茨城大学農学部食生命科学科 助教	精神ストレスを介した塩味嗜好性の新規制御メカニズムの解明

奨励研究助成(B)

助成金計 13.9百万円

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	岡本 正吾	東京都立大学システムデザイン学部情報科学科 准教授	次世代時系列官能評価法とデータサイエンスの融合による美味しさ理解の深化
2	亀本 佳世子	大阪公立大学大学院医学研究科 特任助教	月経周期による食欲の変化は一過性運動後の食欲抑制ホルモン動態の影響を受けるのか？
3	近藤 健太	滋賀医科大学医学部 特任助教	ビタミンCによるDNA脱メチル化が記憶CD8 T細胞の免疫応答に及ぼす影響の解析
4	鹿野 健史朗	大分大学医学部神経生理学講座 助教	新規視床下部因子による食嗜好性制御メカニズムの解明
5	榛葉 有希	静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科臨床栄養学研究室 助教	アミノ酸代謝物 β アミノイン酪酸による抗糖尿病作用の解明
6	田中 誠也	東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門 助教	ケルセチン摂取後の血中主要抱合体であるケルセチンヘテロ抱合体の生理機能解明
7	田中 照佳	近畿大学農学部水産学科水産利用学研究室 講師	未利用トウキ茎に含有する活性成分と血糖値上昇抑制効果の解明
8	林 勇佑	東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 助教	マルチスケールデジタルツインを用いた凍結保護剤設計基盤
9	深澤 和也	岐阜薬科大学機能分子学大講座薬理学研究室 助教	栄養センサー異常による中枢性肥満発症メカニズムの解明
10	福山 太郎	玉川大学学術研究所生物機能研究開発センター 助教	栽培時の光環境制御によるペパーミント芳香成分濃度の定量制御技術の開発
11	前田 一行	名古屋大学大学院生命農学研究科 助教	食用かびベネネータムの発酵食創製に向けた固体発酵法の探究
12	水之江 雄平	東京理科大学生命医科学研究科生体運命制御部門 助教	サルコペニア治療に向けた内因性コレステロールを制御する食品成分スクリーニング解析
13	観山 恵理子	東京農工大学大学院農学研究院共生持続社会学部門 助教	昆虫食の普及における倫理的消費の役割
14	涌井 杏奈	新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 助教	母乳を含めた新生児用の飲料と口腔細菌叢との関連(網羅的・分子生物学的解析)

●研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)	助成金合計	60百万円
●奨励研究助成	助成金合計	123.4百万円
2023年度研究助成	助成金総額	183.4百万円

Ⅱ 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2022 年 5 月 20 日 第 50 回	1. 「2021 年度事業報告および計算書類等承認」の件 2. 「内閣府への事業報告等に係る提出書類承認」の件 3. 「評議員会招集承認」の件 4. 「役員選任に関する議案概要承認」の件 5. 「研究助成事業選考委員選任承認」の件 6. 「規程改定承認」の件 7. 「顧問選任承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022 年 6 月 4 日 第 51 回	1. 「理事長、専務理事、常務理事選定」の件 2. 「議決権行使に関する承認」の件 3. 「事務局長選任」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022 年 10 月 4 日 第 52 回	1 「2023 年度研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉助成対象者承認」の件 2. 「2023 年度奨励研究助成（A）助成対象者承認」の件 3. 「2023 年度奨励研究助成（B）助成対象者承認」の件 4. 「2022 年度上半期研究論文作成・掲載・発表経費助成対象者承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2023 年 1 月 15 日 第 53 回	1. 「規程改定承認」の件	全員一致で承認・可決
2023 年 3 月 4 日 第 54 回	1. 「2023 年度事業計画・積立金取崩し・収支予算・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認」の件 2. 「2022 年度特定資産取崩し承認」の件 3. 「2022 年度下半期研究論文作成・掲載・発表経費助成の対象者承認」の件 4. 「規程改定承認」の件 5. 「顧問選任承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 採決見送り

(2) 評議員会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2022 年 6 月 4 日 第 11 回定時	1. 「評議員会議長互選」の件 2. 「議事録署名人選出」の件 3. 「2021 年度決算承認」の件 4. 「評議員改選承認」の件 5. 「理事長・常勤役員の報酬承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

(3) 選考委員会

①奨学事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2022 年 9 月 7 日 第 1 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2022 年度一般奨学生（秋採用）候補者決定」の件 3. 「2022 年度中国渡日前採用奨学生候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022 年 11 月 19 日 第 2 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「奨学金支給期間延長奨学生候補者決定」の件 3. 「募集対象大学新規追加」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
2023 年 2 月 15 日 第 3 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2023 年度一般奨学生（春採用）候補者決定」の件 3. 「2022 年度韓国渡日前採用奨学生候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

②研究助成事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2022 年 8 月 25 日 第 1 回	1. 「2023 年度研究者育成助成 面接候補者決定」の件 2. 「2023 年度奨励研究助成（A）助成対象候補者決定」の件 3. 「2023 年度奨励研究助成（B）助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022 年 9 月 20 日 第 2 回	1. 「2023 年度研究者育成助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決

事業報告に係る附属明細書

記載する事項無し

以上